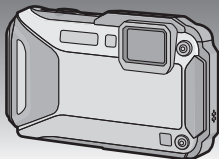


Panasonic®

取扱説明書 基本操作編 デジタルカメラ

品番 DMC-FT5

LUMIX



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に必ず以下をお読みください。
 - ・「安全上のご注意」(43～49ページ)
 - ・「(重要)本機の防水/防じん、耐衝撃性能について」(7～11ページ)
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本機の詳しい操作説明について

本機の使い方や使用上のお願ひなど詳しい操作説明は、
本機のCD-ROM(付属)に記録された「取扱説明書 詳細操作編」
(PDFファイル)に記載されています。

- パソコンにコピーしてお読みください。コピーのしかたは3ページをお読みください。



保証書付き



VQT4T98-2
F0113MG2033

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサー

Wi-Fi

パソコン
との接続

その他

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(43～49ページ)

準備

取扱説明書(PDF形式)を読む	3
ご使用の前に	4
(重要)本機の防水/防じん、 耐衝撃性能について	7
付属品	12
各部の名前	13
バッテリーを充電する	14
バッテリーを入れる	14
カード(別売)を入れる	15
本機で使えるカードの種類	15
電源を入れて時計を設定する	16
時計設定を変更する	16

撮る・見る

撮る	17
撮影モードを選ぶ	18
写真を撮る	19
動画を撮る	19
見る	20
画像を消去する	21

GPS・センサー

GPS 機能を使って	
撮影する	22
GPS 情報を取得する	23
GPS 情報を更新する	23
測位状況または測位結果の 画面表示について	24
方位、高度、気圧を計測する	26
センサー(方位 / 高度 / 気圧計)を作動させる	26
高度計	27
気圧計	27
方位計	27

Wi-Fi

スマートフォン/タブレットで 撮る/見る	28
スマートフォン/ タブレットアプリ 「Panasonic Image App」 をインストールする	28
スマートフォン/タブレット と簡単に接続する(NFC)	29
スマートフォン/タブレット と接続する	31
スマートフォン/タブレット で撮影する (リモート撮影)	32
カメラの画像を再生する	32
履歴から接続する	33
お気に入り接続	33

パソコンとの接続

付属のソフトウェアを使う	34
ソフトウェアを インストールする	34

その他

別売品のご紹介	35
無線LAN使用上のご願い	36
仕様	37
保証とアフターサービス (よくお読みください)	50
無料修理規定	55
保証書	裏表紙

取扱説明書(PDF形式)を読む

本機操作の詳細については、CD-ROM(付属)の「取扱説明書 詳細操作編」に記載されています。パソコンにコピーしてお読みください。

■ Windowsの場合

- 1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)を入れる
- 2 インストールメニューが表示されたら、[取扱説明書]をクリックする
- 3 [日本語]が選ばれている状態で、[取扱説明書]をクリックしてコピーする
- 4 デスクトップの[取扱説明書]のショートカットアイコンをダブルクリックして開く

■ 取扱説明書(PDF形式)が開けないときは

取扱説明書(PDF形式)を閲覧・印刷するためには、Adobe Acrobat Reader 5.0以降、またはAdobe Reader 7.0以降が必要です。

お使いのパソコンにインストールされていない場合は、CD-ROM(付属)を入れ、[Adobe Reader]をクリックしたあと、画面のメッセージに従って進み、インストールしてください。

(対応OS: Windows XP SP3/Windows Vista SP2/
Windows 7/Windows 8)

- Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードすることもできます。
<http://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>

■ 取扱説明書(PDF形式)をアンインストールするには

"Program Files¥Panasonic¥Lumix¥" フォルダ内のPDFファイルを削除してください。

■ Macの場合

- 1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)を入れる
- 2 CD-ROMの「Manual」フォルダを開き、言語フォルダの中のPDFファイルをコピーする
- 3 PDFファイルをダブルクリックして開く

「取扱説明書 詳細操作編」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサ

Wi-Fi

パ
ン
ソ
ン
の
接
続

その他

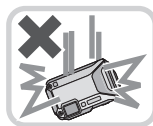
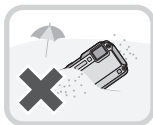
ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…

- 砂やほこりの多いところで側面扉を開け閉めすると、側面扉の内側(ゴムパッキンや接続端子付近など)に砂粒などの異物が付着するおそれがあり、異物が付着した状態で側面扉を閉めると防水性能が損なわれます。また故障などの原因になることがありますので、特にお気をつけください。
- 側面扉の内側に異物が付着した場合は繊維くすの出ない乾いた布でふき取ってください。
- 本機または側面扉の内側に水滴などの液体が付着した場合は、柔らかい乾いた布でふき取ってください。水辺、水中、ぬれた手、本機がぬれた状態での側面扉の開け閉めは行わないでください。浸水の原因になります。

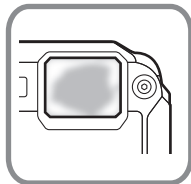
本機を落としたり、ぶつけたりして強い衝撃や振動を与えないでください。また強い圧力をかけないでください。

- (例) – 本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる。
- 本機に取り付けたストラップに、アクセサリなどをぶら下げる。
 - 本機を水深13 mより深いところで使用し、強い水圧がかかった場合。
- 防水性能が損なわれる場合があります。
 - レンズや液晶モニターが破壊される場合があります。
 - 性能、機能の故障になる場合があります。



■ レンズの内側が曇るとき(結露)

本機は曇り防止二重ガラスによって曇りを防止する構造になっていますが、使用環境により発生する場合があります。本機の故障や不具合ではありません。



レンズの内側が曇った場合の対処方法

- 電源を切り、高温・多湿、砂やほこりの多いところを避け、周囲の温度が一定の場所で側面扉を開けてください。側面扉を開けた状態で約10分～2時間そのままにしておくと周囲の温度になじみ、曇りが自然に取れます。
- 曇りが取れない場合は、お買い上げの販売店かお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。

レンズの内側が曇りやすい条件

以下のような温度差が激しいまたは湿度が高い条件下で使用した場合、結露が発生し、レンズの内側が曇る場合があります。

- 高温の水辺などから急に水中で使用した場合
- スキー場や標高の高いところなどの寒冷地から暖かい場所に移動した場合
- 多湿な環境で側面扉を開けた場合

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

ご使用の前に (続き)

■ GPS について

本機の地名情報について

お使いの前にCD-ROM(付属)に収録されている「取扱説明書 詳細操作編」の「地名データ使用許諾契約書」をお読みください。

[GPS設定]を[ON]に設定していると、電源を切っても、GPS機能が働きます

- 本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがありますので、離着陸時や使用を禁止された区域では、[機内モード]を[ON]に設定のうえ、本機の電源を切ってください。
- [GPS設定]が[ON]のときは、電源を切った状態でもバッテリーが消耗します。

撮影地の情報について

- 撮影地の地名やランドマーク(建物の名称など)は、2012年10月現在のものです。更新はされません。
- 国や地域により、地名やランドマークの情報が少ない場合があります。

測位について

- GPS衛星からの電波が受信しにくい環境では、測位に時間がかかります。(P22)
- 初めて測位するときや、[GPS設定]を[OFF]または[機内モード]を[ON]にして電源を切り、再び電源を入れて測位した場合、電波の受信状態が良くても測位成功までに約2～3分かかる場合があります。
GPSアシストデータを使うと、測位時間を短縮できます。
詳しくは、「取扱説明書 詳細操作編」をお読みください。
- GPS衛星の位置は刻々と変化していますので、撮影する場所や状況により、正しく測位できなかったり、誤差が生じる場合があります。
- 測位を円滑に行うため、詳しくは22ページの「GPS衛星から電波を受信するには」をお読みください。

海外旅行などでお使いの場合

- 中国および中国と隣接する周辺国の国境付近でGPSが働かない場合があります。(2013年1月現在)
- 国や地域によっては、GPSの使用などが規制されている場合があります。本機にはGPS機能がありますので、海外旅行などで外国に持ち込む場合は、事前にGPS機能付きカメラについて持ち込み制限などがないか、大使館や旅行代理店などにご確認ください。

■ 方位計、高度計、水深計、気圧計について

- 本機で計測される情報はあくまでも目安です。専門的な用途でご使用にならないでください。
- 本機を登山やトレッキング、水中でご使用の際は、計測される情報(方位、高度、水深、気圧)を目安としてお使いのうえ、必ず地図や専用の計測器を携帯するようにしてください。

(重要)本機の防水/防じん、耐衝撃性能について

防水/防じん性能

JIS保護等級IP68に相当し、水深13 m/60分までの撮影が可能です。(※ 1)

耐衝撃性能

MIL-STD 810F Method 516.5-Shockに準拠した当社の試験(厚さ3 cmの合板上で2 mの高さからの落下試験)をクリアしています。(※ 2)

耐荷重性能

100 kgf の荷重試験をクリアしています。(※ 3)

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサー

Wi-Fi

パソコン
との接続

その他

すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

- ※ 1 当社の定める取り扱い方法、指定時間および指定圧力的水中で使用できることを意味しています。
- ※ 2 MIL-STD 810F Method 516.5-Shockとは、米国国防総省の試験法規格で、落下高さ122 cm、落下方向26方向(8角、12稜、6面)の落下試験を5台のセットを用いて、5台以内で26方向落下をクリアすることと規定されています。(試験途中で不具合が生じた場合は、新たなセットを用いて合計5台以内で落下方向試験をクリアすること)
当社試験法は、上記MIL-STD 810F Method 516.5-Shockを基準として、落下高さ122 cmを200 cmとし、厚さ3 cmの合板上へ落下させる試験をクリアしています。
(落下衝撃部分の塗装剥離・変形など外観変化は不問とします)
- ※ 3 当社試験条件による。

■ 取り扱いについて

- 本機をぶつけたり、落下させるなどの衝撃を与えた場合、防水性能は保証いたしません。カメラに衝撃が加わった場合は、お買い上げの販売店か、お近くの修理ご相談窓口にご相談のうえ、防水性能が保たれているかの点検(有料)をお勧めします。
- 洗剤、石けん、温泉、入浴剤、日焼けオイル、日焼け止め、薬品などの飛まつがなかったときは、速やかにふき取ってください。
- 本機の防水機能は、海水と真水にのみ対応しています。
- お客様の誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は保証対象外となります。
- 本機内部は防水仕様ではありません。浸水した場合は故障します。
- 付属品は防水仕様ではありません。
- カードやバッテリーは防水仕様ではありません。ぬれた手で取り扱わないでください。また、ぬれたカード、バッテリーを本機に入れないでください。
- 本機を寒冷地での低温下(スキー場や標高の高いところなど)、または、40℃以上の高温になるところ(特に強い太陽光の当たるところ、炎天下の自動車内、暖房機の近く、船上、砂浜など)に長時間放置しないでください。(防水性能が劣化します)

(重要)本機の防水/防じん、耐衝撃性能について (続き)

■ [防水などの注意点] デモ表示について

- お買い上げ時に、側面扉を完全に閉じた状態で初めて電源を入れると、[防水などの注意点]が表示されます。
- 防水性能を保つため、事前にご確認ください。

1 ◀ボタンで[はい]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 開始前に[いいえ]を選ぶと、時計設定画面に自動的にスキップします。

2 ◀/▶ ボタンで画面を送る

◀: 前の画面へ ▶: 次の画面へ

- [MENU/SET] ボタンを押すと強制的に終了できます。
- 確認中に途中で電源を切ったり、[MENU/SET] ボタンを押して強制終了した場合は、電源を入れるたびに[防水などの注意点]が表示されます。

3 最終画面(12/12)を見終わったあとに、[MENU/SET] ボタンを押す

- 最終画面(12/12)を見終わったあとに、[MENU/SET] ボタンを押すと、次回から電源を入れたとき[防水などの注意点]は表示されません。
- セットアップメニューの[防水などの注意点]からも、確認することができます。

■ 水中で使用する前の確認

側面扉のゴムパッキンとゴムパッキンの当たるところを繊維くずの出ない乾いた布で必ずふいてください。

1 側面扉の内側に異物が付着していないか確認する

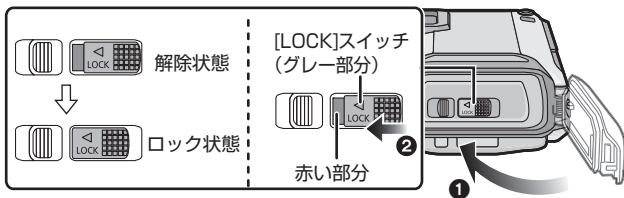
- 糸くずや髪の毛、砂粒などの異物が周りに付いていると、数秒で浸水して故障の原因になります。
- 液体が付着している場合は、柔らかい乾いた布でふき取ってください。液体が付着した状態で使用すると、浸水して故障の原因になります。
- 異物が付着している場合は、繊維くずの出ない乾いた布でふき取ってください。
- ゴムパッキンの側面や四隅にも微小な砂粒などが付着することがありますので、特に気をつけて取り除いてください。

2 側面扉のゴムパッキンにひび割れや変形がないか確認する

- 本機のゴムパッキンの性能は、1年以上経過すると劣化します。最低でも1年に1回はお買い上げの販売店かお近くの修理ご相談窓口にご相談いただき、ゴムパッキンの交換(有料)をお勧めします。

3 側面扉を確実に閉じる

- [LOCK] スwitchの赤い部分が見えなくなるまで確実にロックしてください。
- 浸水を防ぐために、液体や砂、髪の毛、ほこり、ストラップのひもなどの異物を挟み込まないように、お気をつけください。



砂粒、ほこりの多いところや水辺、およびぬれた手で側面扉の開閉は行わないでください。砂やほこりが付着すると浸水の原因になります。

■ 水中でのご使用について

- 水深13 m以内、水温0℃～40℃の範囲内の場所で使用してください。
- スキューバダイビング(アクアラング)では、使用しないでください。
- 水深13 mより深いところで使用しないでください。
- 40℃を超えるお湯(お風呂や温泉など)の中では、使用しないでください。
- 水中で60分以上連続して使用しないでください。
- 水中で側面扉の開け閉めを行わないでください。
- 水中で本機に衝撃を与えないでください。(防水性能が保てず、浸水の可能性があります)
- 本機を持ったまま水中に飛び込まないでください。また、急流や滝など、激しく水のかかる場所で使用しないでください。(強い水圧がかかり、故障の原因になることがあります)
- 本機は水中に沈みます。紛失させないため、ストラップを確実に装着するなどして、落とさないようにしてください。フローティングストラップ(別売:DMW-FST1)の使用をお勧めします。

(重要)本機の防水/防じん、耐衝撃性能について (続き)

■ 水中で使用したあとのお手入れ

水洗いをして砂粒やほこりを取り除くまでは、側面扉を開閉しないでください。

ご使用後は、必ずお手入れをしてください。

- 手、体や髪の毛などに付いた水滴、砂粒、塩分をよくふき取ってください。
- 水しぶきや砂がかかるおそれのある場所は避け、室内でのお手入れをお勧めします。

水中でのご使用後は、そのまま放置せずに必ずお手入れをしてください。

- 異物や塩分を付着したまま放置していると破損、変色、腐食、異臭または防水性能の劣化の原因になります。

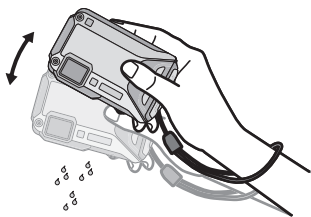
1 側面扉を閉じたまま水洗いをする

- 海辺や水中で使用した場合は、浅い容器にためた真水の中で 10 分程度つけ置きしてください。
- ズームボタンや電源ボタンが正常に動かないときは異物が付着している可能性があります。そのまま使用すると動かなくなるなど、故障の原因になりますので、真水につけてよく揺すり、異物を洗い流してください。
- 水につけた際、水抜き穴から泡が出ることがありますが、故障ではありません。



2 天面を下にして本機を持ち、軽く数回振って水を抜く

- 落下防止のため、必ずストラップに手を通してください。



3 柔らかい乾いた布で水滴をふき取り、風通しのよい日陰で乾かす

- 乾いた布の上に立てて置いて、乾かしてください。本機は水抜き構造となっており、電源ボタンやズームボタンなどの隙間に入った水が外に出てきます。
- ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。変形により防水性能が劣化します。
- ベンジン、シンナー、アルコール、クレンジャーなどの薬品、石けん、中性洗剤を使用しないでください。



4 水滴が付いていないことを確認してから、側面扉を開け、内側に残った水滴や砂粒を柔らかい乾いた布でふき取る

- 十分に乾燥させないまま、側面扉を開けると水滴がカードやバッテリーに付着する場合があります。また、カード/バッテリー挿入部付近や端子付近の溝に水分がたまる場合があります。柔らかい乾いた布で必ずふき取ってください。
- ぬれたまま側面扉を閉じると、水滴が本機内部に侵入し、結露や故障の原因になります。

付属品



付属品をご確認ください。

記載の品番は2013年1月現在のもので、変更されることがあります。

☐ 	バッテリーパック DMW-BCM13 (本文中では バッテリー と表記します) ●充電してからお使いください。	☐ 	バッテリーチャージャー VSK0799 (本文中では チャージャー と表記します)
☐ 	電源コード K2CA2YY00247	☐ 	USB接続ケーブル K1HY08YY0031
☐ 	ハンドストラップ VFC4297	☐ 	CD-ROM ●ソフトウェア ●取扱説明書 詳細操作編 (パソコンにインストールしてお使いください)

※ 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のバッテリーチャージャー(DMW-BTC11)をお買い求めください。

- カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。
- 別売品については35ページを参照してください。
- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 付属品は防水仕様ではありません。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

CLUB Panasonic

Pana Sense



付属品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。

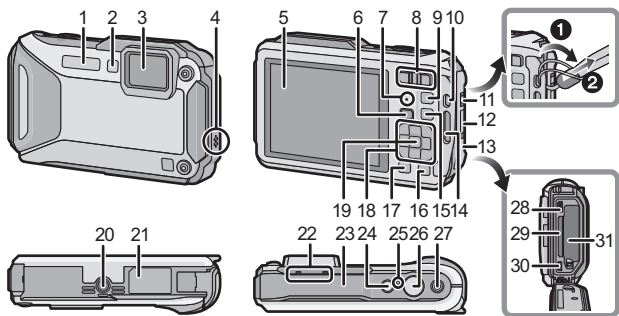
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

携帯電話からもお買い求めいただけます。

<http://p-mp.jp/cpm/>

各部の名前



安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサー

Wi-Fi

パソコン
との接続

その他

- 1 フラッシュ発光部
- 2 セルフタイマーランプ / AF補助光ランプ / LEDライト
- 3 レンズ部(P5)
- 4 スピーカー
 - スピーカーを指で塞がないようお気を付けてください。音が聞こえにくくなります。
- 5 液晶モニター
- 6 [Wi-Fi] ボタン(P31)
- 7 Wi-Fi®接続ランプ
- 8 ズームボタン(P17、20)
- 9 [▶] (再生) ボタン(P20)
- 10 ストラップ取り付け部
 - 落下防止のため、必ずストラップを取り付けてご使用ください。
 - ストラップは、必ずストラップ取り付け部に取り付けてください。
- 11 開閉レバー(P14、15)
- 12 [LOCK] スイッチ
- 13 側面扉(P14、15)
- 14 飾り穴
- 15 [MODE] ボタン(P18、20)
- 16 [Q.MENU/⏏] ボタン(P17) / [⏏] (消去) ボタン(P20)
- 17 [DISP.] ボタン(P17、20)
- 18 カーソルボタン(P17、20)
 - 本書では、カーソルボタンの上下左右を押す操作を▲/▼/◀/▶で説明しています。
- 19 [MENU/SET] ボタン(P17、20)
- 20 三脚取り付け部
 - ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。
- 21 NFC アンテナ部 [📶] (P29)
- 22 マイク
- 23 GPSアンテナ部
- 24 電源ボタン(P16)
- 25 GPS動作ランプ(P23)
- 26 シャッターボタン(P19)
- 27 動画ボタン(P19)
- 28 [HDMI] 端子
 - HDMIマイクロケーブル(別売)以外は接続しないでください。故障の原因になります。
- 29 カード挿入部(P15)
- 30 [AV OUT/DIGITAL] 端子
- 31 バッテリー挿入部(P14)

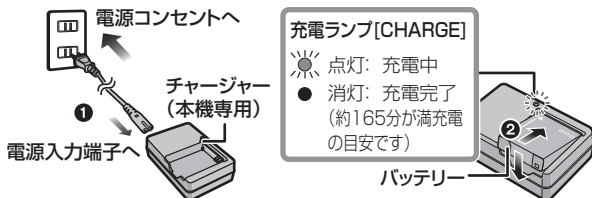
バッテリーを充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- 充電は周囲の温度が 10℃～30℃ (バッテリーの温度も同様) のところで行うことをお勧めします。
- 充電完了後は、電源プラグを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください。

1 電源コードをつなぐ

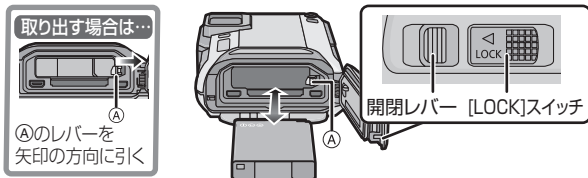
電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

2 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む



バッテリーを入れる

- 1 [LOCK]スイッチをスライドさせて、ロックを解除する
- 2 開閉レバーをスライドさせて、側面扉を開く
- 3 向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに④のレバーがかかっていることを確認する
- 4 側面扉を「カチッ」と音がするまで押して閉じ、[LOCK]スイッチを「◀」側にスライドさせてロックする



カード(別売)を入れる

安全上の
ご注意

- 1 [LOCK]スイッチをスライドさせて、ロックを解除する
- 2 開閉レバーをスライドさせて、側面扉を開く
- 3 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる
- 4 側面扉を「カチッ」と音がするまで押し、[LOCK]スイッチを[◀]側にスライドさせてロックする

準備

撮る・見る

GPS・
センサー

Wi-Fi

パソコン
との接続

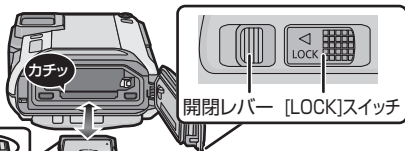
その他

取り出す場合は…

「カチッ」と音がする
まで押し、まっす
ぐ引き抜く

接続端子部

端子部には
触れないでください。



本機で使えるカードの種類

	備考
SDメモリーカード (8 MB～2 GB)/ miniSDカード※ ¹ / microSDカード※ ¹	● 動画撮影の際は、SDスピードクラス※²が「Class4」以上のカードを使用してください。 ● SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードは、それぞれの対応機器でのみ使用できます。 ● SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/ ● 左記の容量以外のカードは使えません。
SDHCメモリーカード (4 GB～32 GB)/ microSDHCカード※ ¹	
SDXCメモリーカード (48 GB、64 GB)	

※¹ 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

※² SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

(例)

CLASS④ ④

- 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。

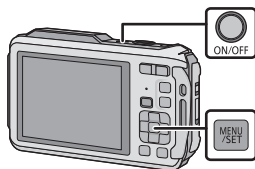
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

電源を入れて時計を設定する

● お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源ボタンを押す

- [防水などの注意点]が表示されます。(P8)
最終画面を見終わったあとに、[時計を設定してください]が表示されます。



2 [MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀/▶ ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式)を選び、▲/▼ ボタンで設定する



4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 確認画面が表示されます。[MENU/SET] ボタンを押してください。

5 自動で時刻を補正する場合は[はい]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 自動的に、次の設定も変更されます。
[GPS設定]:[ON]
[ワールドタイム]:[旅行先] (画面の日時に[✈]が表示されます)
- メッセージ画面が表示されます。[MENU/SET] ボタンを押してください。

6 ◀/▶ ボタンでお住まいの地域を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 高度計、気圧計、方位計を作動させるための確認画面が表示されます。
作動させる場合は[はい]を選んでください。



時計設定を変更する

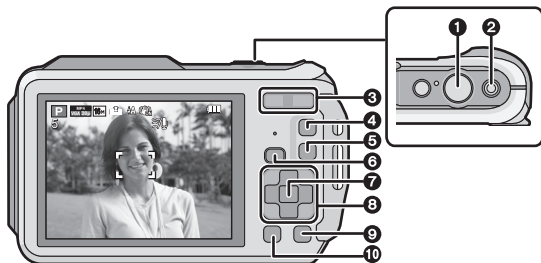
1 [MENU/SET] ボタンを押してメニュー画面を表示する

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[セットアップ]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで[時計設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 時計設定画面が表示されます。

撮る



安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサ

Wi-Fi

パソコン
との接続

その他

① シャッターボタン (P19)	写真を撮影します。
② 動画ボタン(P19)	動画を撮影します。
③ ズームボタン	[W] : 広く撮ります。(広角) [T] : 大きく撮ります。(望遠)
④ [▶] ボタン(P21)	撮影と再生を切り換えます。
⑤ [MODE] ボタン(P18)	撮影モード一覧を表示します。
⑥ [Wi-Fi] ボタン	Wi-Fi メニューを呼び出します。
⑦ [MENU/SET] ボタン	メニュー画面を表示します。
⑧ カーソル ボタン 	▲ : 露出補正/オートブラケット設定画面を表示します。 ▼ : マクロ撮影設定画面を表示したり、追尾AF時に被写体をロックしたりします。 ◀ : セルフタイマー設定画面を表示します。 ▶ : フラッシュ設定画面を表示します。 長めに押すとLEDライトを点灯させることができます。(LED ライト設定時)
⑨ [Q.MENU/🔍] ボタン	一部のメニューを簡単に呼び出します。
⑩ [DISP.] ボタン	押すごとに液晶モニターの表示を切り換えます。

撮る(続き)

撮影モードを選ぶ

1 [MODE] ボタンを押す



2 ▲/▼/◀/▶ ボタンでモードを選ぶ



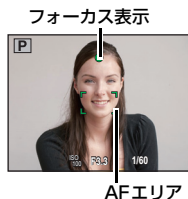
3 [MENU/SET] ボタンを押す

■ 撮影モード一覧

インテリジェントオートモード	カメラにおまかせで撮影します。
P プログラムAEモード	お好みの設定で撮影します。
M マニュアル露出モード	絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。
クリエイティブコントロールモード	画像効果を確認しながら撮影します。
スポーツモード	動きの速い場面に最適なモードです。
雪モード	スキー場や雪山などの雪を白く出すように撮影します。
ビーチ&シュノーケリングモード	水中とビーチでの撮影に最適です。
アドバンス水中モード	マリンケース(別売;DMW-MCFT5)を使って、水深 13 m 以上での撮影に最適です。
パノラマモード	パノラマの写真を撮影します。
SCN シーンモード	撮影シーンに合わせて撮影します。

写真を撮る

- 1 撮影モードを選ぶ(P18)
- 2 シャッターボタンを半押し
(軽く押す)してピントを合わせる
 - ピントが合うと、フォーカス表示(緑)が点灯し、ピントが合った位置にAFエリアが表示されます。
(ピントが合わないときは、フォーカス表示が点滅します)
- 3 シャッターボタンを全押し
(さらに押し込む)して撮影する



安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

動画を撮る

- 1 撮影モードを選ぶ(P18)
- 2 動画ボタンを押して撮影を開始する
 - 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 3 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する
 - 容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。
 - [AVCHD]の[FHD/60p/📹]/[FHD/60p]/[FHD/60i/📹]/[FHD/60i]で動画を連続で撮影できるのは、最大29分59秒までです。
 - [MP4]で1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4 GBまでです。([MP4]の[FHD/30p]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります)



GPS・
セNSSAI

Wi-Fi

パソコン
との接続

その他

見る



① ズームボタン	[W] (W) : 複数の画像を一覧表示します。 [Q] (T) : 画像を拡大します。
② [▶] ボタン(P21)	撮影と再生を切り換えます。
③ [MODE] ボタン	再生モード一覧を表示します。 ▶ (全画像) : すべての画像を再生します。 2D/3D (2D/3D切換)※ : 3D画像の再生方法を切り換えます。 - スライドショー (スライドショー) : 画像を順番に再生します。 - 絞込み再生 (絞込み再生) : 画像を分類して再生します。 - カレンダー検索 (カレンダー検索) : 撮影した日付から画像を検索します。 ※ 3D画像があって、HDMI出力時のみ表示される項目です。
④ [MENU/SET] ボタン	メニュー画面を表示します。
⑤ カーソルボタン (P21)	 ▲ : 動画を再生します。 ▼ : 動画の再生を終了します。 ◀ : 前の画像を選びます。 ▶ : 次の画像を選びます。
⑥ [🗑️] ボタン(P21)	画像を消去します。
⑦ [DISP.] ボタン	押すごとに液晶モニターの表示を切り換えます。

1 [▶] ボタンを押す

2 ◀/▶ ボタンで画像を選ぶ

ファイル番号 画像番号



安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサ

Wi-Fi

パ
ン
コ
ン
の
接
続

その他

■ 動画を見る

動画アイコン([MP4 VGA 30FPS] など)が付いた画像を選び、▲ ボタンを押して再生する

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。

動画アイコン 動画記録時間



■ 動画再生中の操作

▲	再生/一時停止	◀	早戻し(2段階)/コマ戻し(一時停止中)
▼	停止	▶	早送り(2段階)/コマ送り(一時停止中)

- 音量はズームボタンで調整できます。

画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができませんので、お気をつけください。

消去する画像を選び、[🗑️] ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

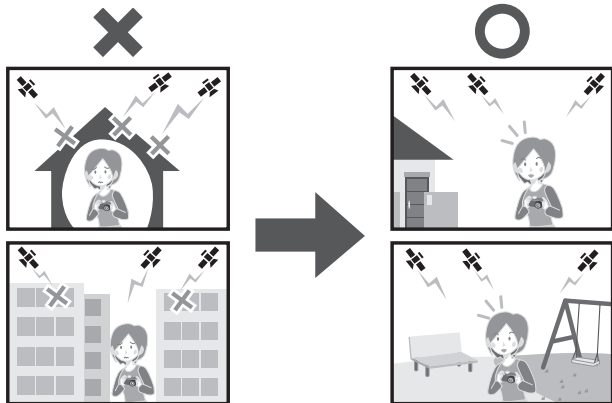
GPS 機能を使って撮影する

■ GPSについて

GPSとは、グローバル・ポジショニング・システム(Global Positioning System)の略で、GPS衛星を利用して自分の位置を確認することができるシステムです。複数のGPS衛星から軌道情報と時刻情報を含む電波を受信して現在位置を計算することを「測位」といいます。また、ロシア政府が運用している衛星測位システム「GLONASS」衛星にも対応しています。本機では、測位によって取得した地名情報および緯度/経度を撮影した画像に記録したり、自動で時刻を補正したりすることができます。

■ GPS衛星から電波を受信するには

- 屋外の空のひらけた場所でGPSアンテナ部を上空に向け、カメラをしばらく静止した状態で使用することをお勧めします。
- 次のような場所では、GPS衛星からの電波が正しく受信できないため、測位できなかったり、大きな誤差が発生する場合があります。
 - 屋内
 - 地下や水中
 - 森の中
 - 電車や車などで移動中
 - ビルの近くや谷間
 - 高圧電線の近く
 - トンネルの中
 - 1.5 GHz 帯の携帯電話などの近く

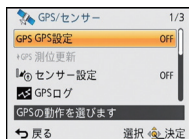


- GPSアンテナ部を手などで覆わないでください。
- 測位中に本機を持ち運ぶときは、金属製のかばんなどに入れないでください。金属などで覆われると測位できません。

GPS情報を取得する

[GPS設定]を[ON]に設定しておくで、定期的に測位を行います。測位に成功すると、地名情報や緯度/経度を取得します。

- 1 [MENU/SET] ボタンを押してメニュー画面を表示する
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンでGPS/センサーメニューを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ▲/▼ ボタンで[GPS設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ▲/▼ ボタンで[ON]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- 設定後はメニューを終了してください。

- 測位中はGPS動作ランプが点灯します。
また電源を切った状態でGPS動作ランプが点灯するときは[GPS設定]が[ON]になっています。
- [GPS設定]を[ON]に設定していると、電源を切った状態でも、GPS機能が働きます。本機からの電磁波などが計器類に影響を及ぼすことがありますので、飛行機の機内や病院などに本機を持ち込む際は[機内モード]を[ON]に設定のうえ、本機の電源を切ってください。

GPS情報を更新する

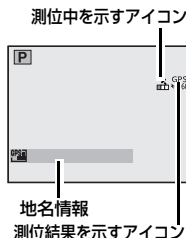
表示されている地名情報と現在位置が異なっていたり、測位が成功しにくい場合は、GPS衛星の電波を受信しやすい場所へ移動して測位更新を行ってください。

- 1 [MENU/SET] ボタンを押してメニュー画面を表示する
 - 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンでGPS/センサーメニューを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 3 ▲/▼ ボタンで[測位更新]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 測位が開始され、成功すると現在位置の最新情報に更新されます。

GPS 機能を使って撮影する(続き)

測位状況または測位結果の画面表示について

GPSが測位を開始すると、撮影画面に測位状況および測位結果を示すアイコンが表示されます。また、測位に成功すると地名情報や緯度 / 経度が表示されます。



■ 測位中を示すアイコン表示

本機では、3つ以上のGPS衛星からの電波を受信できた場合に測位が開始されます。



- 電波を受信できたGPS衛星の数によって目盛りが増えていきます。すべての目盛りが埋まり、測位に成功すると青く点灯します。
[]: 位置情報(緯度/経度)の取得完了
[]: 地名情報の検索完了
- 電波の受信状態が良くても、GPS衛星の状況によっては測位できない場合があります。その際は、[測位更新]を実行することをお勧めします。

■ 測位結果を示すアイコン表示

	測位成功後の経過時間
[]	5分以内
[]	5分前～1時間前
[]	1時間前～2時間前
[]	2時間以上前
[]	測位データがない場合

■ 測位成功に時間がかかる場合

以下の状況下では、電波の受信状態が良くても測位成功に約2～3分かかる場合があります。

- 初めて測位するとき
 - 受信困難な状態が長時間続いたとき
 - バッテリーを交換したとき
 - 電源を入れずに長時間放置していたとき
 - 前回受信に成功した場所から、長距離を移動したとき
 - [GPS設定]を[OFF]にしていたとき
 - [機内モード]を[ON]にして電源を切っていたとき
- GPSアシストデータを使うと、測位時間を短縮できます。
詳しくは、「取扱説明書 詳細操作編」をお読みください。

■ 表示される地名情報

- 国/地域
- 県/州
- 市区/郡
- 町/村
- ランドマーク
- 緯度/経度(環境情報画面に切り換わるまで[DISP.]ボタンを押すと表示されます)

測位に成功し、表示された地名情報および緯度/経度は、撮影した写真や動画※に記録されます。地名情報が記録されたときは[▶]、位置情報が記録されたときは[GPS]が、再生時の画像に表示されます。

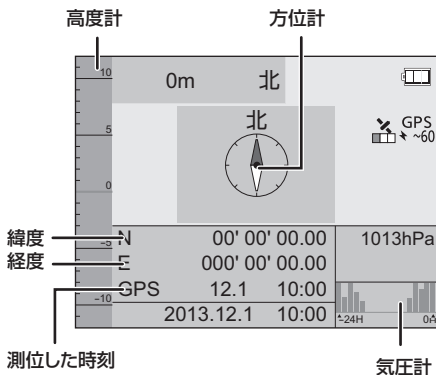
※ [MP4]または[AVCHD]の[FHD/60p/📹]、[FHD/60i/📹]、[HD/60p/📹]で撮影した場合のみ情報が記録されます。記録されるのは撮影開始時の情報のみです。

方位、高度、気圧を計測する

センサー(方位 / 高度 / 気圧計)を作動させる

方位、高度、気圧を計測して、撮影した画像に記録できます。

- 1 [MENU/SET] ボタンを押してメニュー画面を表示する
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンでGPS/センサーメニューを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ▲/▼ ボタンで[センサー設定]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ▲/▼ ボタンで[ON]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 設定後はメニューを終了してください。
 - 環境情報画面に切り換わるまで、[DISP.]ボタンを押してください。



- [GPS設定]が[OFF]のとき、緯度/経度、測位した時刻は表示されません。
- 電源を切った状態でも働きます。電源を切った状態で方位計/高度計/気圧計を働かせたくないときは、[機内モード]を[ON]に設定してください。
- 動画※は撮影開始時の方位、高度、気圧が記録されます。
 - ※ [MP4]または[AVCHD]の[FHD/60p/📹]/[FHD/60i/📹]/[HD/60p/📹]で撮影した場合。

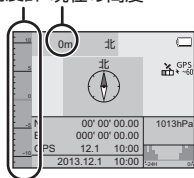
高度計

現在位置の高度を計測します。

お買い上げ時、高度計は調整されていません。

- 表示範囲は-600 m ~ 9000 m です。
- 表示される高度は、相対高度です。
海拔 0 m = 1013 hPa を基準の値として本機内部の気圧を高度に換算した値です。
- 高度値は気圧変化などにより高度基準の標識のある場所などと比べ、誤差が出る場合があります。
[高度計]の[調整]でこまめに調整してください。
詳しくは、「取扱説明書 詳細操作編」をお読みください。

高度計 現在の高度



安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサー

Wi-Fi

パソコン
との接続

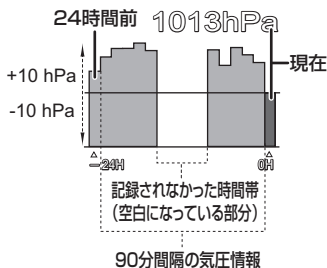
その他

気圧計

現在の気圧情報を基準にして
-10 hPa ~ +10 hPa の範囲内
でグラフ表示します。

(範囲外の気圧は詳細に表示できません)

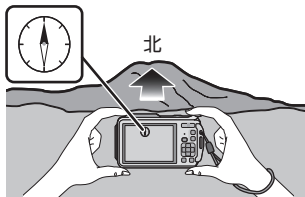
- 晴天や雨天の変化の傾向を知る目安になります。
 - 気圧が高くなりつつあるとき:
天気は回復傾向
 - 気圧が低くなりつつあるとき:
天気は下り坂傾向



方位計

本機のレンズが向いている方向を基準に 16 方位を計測します。

- 方位計の針の色の付いた部分が北を指します。



スマートフォン/タブレットで撮る/見る

スマートフォン/タブレットを使って、離れた場所からカメラを操作できます。お使いのスマートフォン/タブレットに「Panasonic Image App」(以降は「Image App」と表記)をインストールする必要があります。

スマートフォン/タブレットアプリ 「Panasonic Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

	Android™ 向けアプリ	iOS 向けアプリ
バージョン	1.2 以降	
対応 OS	Android 2.2 ~ Android 4.2※	iOS 4.3 ~ iOS 6.0
インストール 手順	1 Android端末をネットワークに接続する 2 「Google Play™ストア」を選ぶ 3 検索フィールドに「Panasonic Image App」と入力する 4 「Panasonic Image App」を選び、インストールする ● メニューにアイコンが追加されます。 	1 iOS端末をネットワークに接続する 2 「App Store™」を選ぶ 3 検索フィールドに「Panasonic Image App」と入力する 4 「Panasonic Image App」を選び、インストールする ● メニューにアイコンが追加されます。 

- お使いのスマートフォン/タブレットによっては、正しく動作しない場合があります。動作確認済みの機器については、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 3G等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

※ [Wi-Fi Direct]で本機と接続するには、Android OS 4.0 以上で Wi-Fi Direct™ に対応している必要があります。

スマートフォン/タブレットと簡単に接続する(NFC)

NFC(Near Field Communication:近距離無線通信)機能を使用して、本機とスマートフォン/タブレットとの間で Wi-Fi 接続に必要な情報を簡単に受け渡しすることができます。

■ 対応機種について

本機能は、Android(OSバージョン2.3.3以上)で、おサイフケータイ® FeliCa、または NFCに対応する端末でお使いいただけます。(一部機種を除く)

- 初めてスマートフォンのおサイフケータイ®機能をご利用される場合は、事前に初期設定が必要です。

準備:

(カメラ側)

- [NFC動作]を[ON]にする

(スマートフォン/タブレット側)

- スマートフォン/タブレットが対応機種であるか確認する
- Wi-Fi機能をONにする
- 「Image App」をインストールしておく (P28)

■ NFC機能を使って本機をリモート操作する

お使いのスマートフォン/タブレットで本機をリモート操作して以下の機能が使えます。

- リモート撮影をする (P32)
- カメラの画像を再生する (P32)
- カメラの画像をスマートフォン/タブレットに保存したり、Webサービスなどに送信する (P32)

1 お使いのスマートフォン/タブレットで「Image App」を起動する

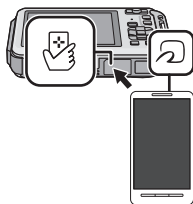
2 「Image App」の接続画面に[👉]が表示されている状態で、本機にタッチする

- カメラの電源が切れている状態でも使えます。

3 接続確認画面が表示されたら、◀/▶ ボタンで[はい]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 再度、本機の[👉]にスマートフォン/タブレットの[📶]をタッチする

- 接続が完了すると、スマートフォン/タブレットの画面に本機の映像が表示されます。
- 接続されたスマートフォン/タブレットは本機に登録されます。2回目からは手順 **1**、**2** の操作で接続できます。



安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサ

Wi-Fi

パ
ン
コ
ン
と
の
接
続

その他

スマートフォン/タブレットで撮る/見る(続き)

■ NFC機能を使って本機の画像を1枚ずつ転送する

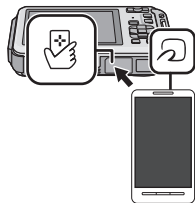
本機の画像をスマートフォン/タブレットに転送することができます。ご家族やご友人のスマートフォン/タブレットに画像を転送したいときに便利な機能です。

1 スマートフォン/タブレットに転送したい画像を本機で再生する

2 転送先のスマートフォン/タブレットで「Image App」を起動する

3 「Image App」の接続画面に[]が表示されている状態で、本機にタッチする

- 他の画像を引き続き転送する場合は、転送したい画像を本機で再生して、再度スマートフォン/タブレットをタッチしてください。
- 使用環境によっては、画像の転送完了までに数分かかる場合があります。



■ NFCについて

- おサイフケータイ®Felica®をご利用時、インターネットへ接続できない環境において、一時的にNFC機能が利用できない場合があります。
- すぐに反応しないときは、位置を少しずらしてください。
- スマートフォン/タブレットを本機に強く当てないでください。
- NFC対応スマートフォン/タブレットには、[]マーク表示がないものもあります。NFC対応スマートフォン/タブレットの操作や設定については、お使いの機器の説明書をお読みください。
- 本機とスマートフォン/タブレットとの間に金属物があると、読み取れない場合があります。また、[]マーク付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性があります。

スマートフォン/タブレットと接続する

準備:

- 「Image App」をインストールしておく (P28)

1 [Wi-Fi] ボタンを押す



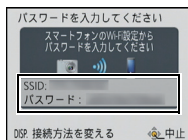
2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで [新規に接続]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 以前と同じ設定で接続する場合は、[履歴から接続]または[お気に入り接続]から接続先を選ぶことができます。



3 ▲/▼ ボタンで[リモートで撮る]を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- スマートフォン/タブレットを本機に直接接続するために必要な情報 (SSID、パスワード) が表示されます。



スマートフォン/タブレット側 (初期状態は[手動接続]での接続になります)

- スマートフォン/タブレットの設定メニューで、Wi-Fi機能をONにする
- 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
- お使いのスマートフォン/タブレットで「Image App」を起動する
 - 接続が完了すると、スマートフォン/タブレットの画面に本機の画像が表示されます。

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサー

Wi-Fi

パソコン
との接続

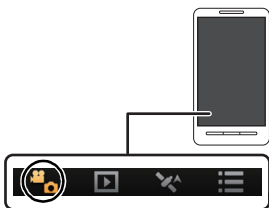
その他

スマートフォン/タブレットで撮る/見る(続き)

スマートフォン/タブレットで撮影する(リモート撮影)

スマートフォン/タブレットの [📷]を選ぶ

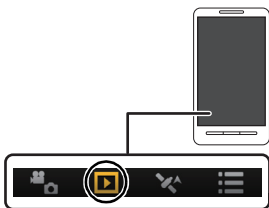
- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 動画も撮影できます ([FHD/60p/📹]/[FHD/60p]を除く)。
- 設定など一部利用できないものがあります。
- ご使用になるOSにより、画面が異なる場合があります。



カメラの画像を再生する

スマートフォン/タブレットの [▶]を選ぶ

- スマートフォン/タブレットに画像を保存することができます。
- 動画は再生できません。
- Webサービスなどに画像を送信することができます。
- ご使用になるOSにより、画面が異なる場合があります。



- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- [リモートで撮る]を終了するには、[Q.MENU/🔍]ボタンを押してください。

履歴から接続する

以前と同じ設定で Wi-Fi 接続をしたい場合、履歴から選んで接続することができます。

- 履歴に保存される数には制限があります。よく使う Wi-Fi 接続設定は[お気に入り接続]に保存しておくことをお勧めします。
- [Wi-Fi 設定リセット]を行うと履歴と[お気に入り接続]の内容は消去されます。

- 1 [Wi-Fi] ボタンを押す
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[履歴から接続]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ▲/▼ ボタンで接続したい項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - [DISP.] ボタンを押すと、接続の詳細が表示されます。

■ お気に入り登録する

よく使う Wi-Fi 接続を登録しておく、簡単に呼び出して接続することができます。

- 1 [Wi-Fi] ボタンを押す
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[履歴から接続]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ▲/▼ ボタンでお気に入りに登録したい項目を選び、▶ ボタンを押す
 - [DISP.] ボタンを押すと、接続の詳細が表示されます。
- 4 登録名を入力する
 - 文字入力について、詳しくは、「取扱説明書 詳細操作編」をお読みください。



お気に入り接続

- 1 [Wi-Fi] ボタンを押す
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[お気に入り接続]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ▲/▼ ボタンで接続したい項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - [DISP.] ボタンを押すと、接続の詳細が表示されます。

付属のソフトウェアを使う

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO 9.1 PE	画像のパソコンへの取り込み、閲覧、整理、印刷 などができます。また、写真の補正や動画の編集 などもできます。 ●対応 OS: Windows 8/7/Vista/XP
LoiLoScope (30日間フル体験版)	簡単に動画編集ができます。 (インストールされるのは、体験版ダウンロード サイトへのショートカットのみになります) LoiLoScopeの詳しい使い方は、以下のサイト から「マニュアル」をダウンロードしてご覧くだ さい。 使い方Webサイト: http://loilo.tv/product/20 ●対応 OS: Windows 8/7/Vista/XP

動作環境や使用方法など、詳しくは「取扱説明書 詳細操作編」(PDF ファイル)
または、それぞれのソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

ソフトウェアをインストールする

準備:

- お使いのパソコンの仕様と各ソフトウェアの動作環境を確認しておく。
- CD-ROM(付属)を入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて
終了しておく。

付属のCD-ROMをパソコンにセットして、ソフトウェアをインストールし
てください。

■ Windowsの場合

メニュー画面の[アプリケーション]をクリックして、インストールするソフ
トウェアを選ぶ

別売品のご紹介

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサー

Wi-Fi

パナコン
との接続

その他

品名	品番
バッテリーパック	DMW-BCM13
バッテリーチャージャー※ ¹	DMW-BTC11
DCカプラー※ ²	DMW-DCC14
ACアダプター※ ²	DMW-AC5
ソフトケース※ ³	DMW-CFT2
フローティングストラップ	DMW-FST1
シリコンジャケット	DMW-CFT5
マリンケース	DMW-MCFT5
AV ケーブル	DMW-AVC1
HDMI マイクロケーブル	RP-CHEU15
USB接続ケーブル	DMW-USBC1

※¹ 海外用変換プラグ(C タイプ)付き

※² DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。
単独では使用できません。

※³ ソフトケースをご利用になる場合は、シリコンジャケットを外してご利用ください。

マリンケース、フローティングストラップおよびシリコンジャケット以外は防水には対応していません。

記載の品番は2013年1月現在のものです。変更されることがあります。

CLUB Panasonic

Pana Sense



別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお
買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

携帯電話からもお買い求めいただけます。

<http://p-mp.jp/cpm/>

無線LAN使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

2.4DS/OF4

本機が2.4 GHz周波数帯を使用するDSSSとOFDM変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

無線LAN機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック LUMIX (ルミックス) ご相談窓口

365日

受付9時～20時

電話 フリーダイヤル



0120-878-638

パナは ルミックスバチ!

■ 上記番号をご利用
いただけない場合

06-6907-1187

■ FAX

フリーダイヤル

0120-878-236



■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報を表示するには、次の順で選択してください。

- 1 Wi-Fi メニューから [Wi-Fi 設定] を選ぶ
- 2 ▲/▼ ボタンで [認証情報] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	DC 5.1 V
消費電力	1.5 W(撮影時)
	1.1 W(再生時)

カメラ有効画素数	1610万画素
撮像素子	1/2.33型MOS 総画素数1750万画素、 原色カラーフィルター
レンズ	光学4.6倍ズーム f=4.9 mm~22.8 mm (35 mmフィルムカメラ換算:28 mm~128 mm)/ F3.3(W端時)~F5.9(T端時)
手ブレ補正	光学式
撮影範囲	通常:30 cm~∞ マクロ/インテリジェントオート/動画: 5 cm(W端時)/30 cm(T端時)~∞ シーンモード:上記撮影範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
最低被写体照度	約12 lx (iロライト時、シャッタースピード1/30秒)
シャッタースピード	4秒~1/1300秒、 シーンモードの[星空]:15秒、30秒
露出	プログラムAE(P)、マニュアル露出(M)
測光方式	マルチ測光
液晶モニター	3.0型TFT液晶(4:3)(約46万ドット) (視野率約100%)
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー(約10 MB)/SDメモリーカード/ SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード
記録画像ファイル形式 写真 動画	JPEG(DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF対応)/MPO AVCHD/MP4
音声圧縮方式	AVCHD: Dolby® Digital(2ch) MP4: AAC(2ch)

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサー

Wi-Fi

パソコン
との接続

その他

仕様(続き)

インターフェース デジタル アナログビデオ オーディオ	USB 2.0(High Speed) NTSCコンポジット オーディオライン出力(モノラル)
端子 AV OUT/DIGITAL HDMI	専用ジャック(8pin) microHDMI Dタイプ
寸法	約 幅 109.2 mm×高さ 67.4 mm×奥行 28.9 mm (突起部除く)
質量	約 214 g(カード、バッテリー含む) 約 188 g(本体)
推奨使用温度	-10℃※～40℃ ※ -10℃～ 0℃(スキー場や標高の高いところなどの寒冷地)では、一時的にバッテリーの性能(撮影枚数/使用時間)が低下します。
許容相対湿度	10%RH～80%RH
言語切り換え	なし(日本語のみ)
方位センサー	16方位検出 (3軸加速度センサーによる姿勢補正機能付き、 自動偏角補正機能付き、自動オフセット調整機能付き)
気圧/高度センサー 気圧 高度 水深	測定範囲 300 hPa～1100 hPa、 1 hPa 単位で 24 時間メモリ機能付き(1.5 時間ごと) 国際標準大気(ISA)で気圧を高度換算、 精度: -5 m～+5 m 3 段階表示(0 m～13 m を 3 段階で表示)
防水性能	JIS C0920 IPX8 相当。(深度 13 m の海中で 60 分間の使用に対応)

耐衝撃性能	本機の試験方法はMIL-STD 810F Method 516.5-Shock ※に準拠しています。 ※ MIL-STD 810F Method 516.5-Shock とは、米国防総省の試験法規格で、落下高さ122 cm、落下方向26方向(8角、12稜、6面)の落下試験を5台のセットを用いて、5台以内に26方向落下をクリアすることと規定されています。(試験途中で不具合が生じた場合は、新たなセットを用いて合計5台以内に落下方向試験をクリアすること) ●当社試験法は、上記MIL-STD 810F Method 516.5-Shockを基準として、落下高さ122 cmを200 cmとし、厚さ3 cmの合板上へ落下させる試験をクリアしています。(落下衝撃部分の塗装剥離・変形など外観変化は不問とします) すべての条件での無破壊、無故障を保証するものではありません。
耐荷重性能	100 kgf(当社試験条件による)
防じん性能	JIS C0920 IP6X 相当

ワイヤレス転送部

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n(無線LAN標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412 MHz~2462 MHz(1~11ch)
暗号化方式	Wi-Fi 準拠 WPA™/WPA2™
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

専用バッテリーチャージャー: VSK0799

定格入力	100 V—240 V 50/60 Hz
入力容量	15 VA
定格出力	DC 4.2 V 0.65 A
使用温度	0℃※~40℃
	※ 0℃未満では充電できません。
	(充電ができないときは、充電ランプが点滅します)

リチウムイオンバッテリーパック: DMW-BCM13

電圧 / 容量	3.6 V/1250 mAh
使用温度	-10℃~40℃(カメラ使用時)
充電推奨温度	10℃~30℃

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、
正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDXCロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、および High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および “AVCHD Progressive” のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™は商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac, Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- APP StoreはApple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play はGoogle Inc. の商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED” ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance”の商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“Wi-Fi Direct”、“WPA”、“WPA2”は “Wi-Fi Alliance” の商標または登録商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
-  は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- おサイフケータイ®は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
- 詳細については米国法人MPEG LA, LLC(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池
リサイクル協力店へご持参ください。



充電式
リチウムイオン
電池使用

Li-ion 20

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページ
をご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニックにより、又はパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>) で利用するために
OpenSSL Project によって開発されたソフトウェア、および、
Eric Young(eay@cryptsoft.com)によって作成されたソフトウェアを
含む、オープンソースソフトウェア

上記(1)、(2)に分類されるソフトウェアについては、[MENU/SET] ボタンを押して[セッ
トアップ] → [バージョン表示] を表示し、[MENU/SET] ボタンを押してご覧ください。

上記(3)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、「取扱説明書 詳細
操作編」に記載の所定の条件をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境でを使用すること
を目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使
用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正し
い取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売:DMW-
USBC1)以外は使用しないでください。
- 当社製AVケーブル(別売:DMW-AVC1)をお使いください。
- 当社製HDMIマイクロケーブル(別売:RP-CHEU15)をお使いください。
- ケーブルは延長しないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



危険



バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない
(※以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起これたら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。
- 外装ラベルのはがれたバッテリーは使わない
- バッテリーには安全のため外装ラベルをかぶせています。これをはがすと、ショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサー

Wi-Fi

パソコン
との接続

その他

危険



バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する(※以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



バッテリーは、本機専用のチャージャーで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ・ チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- ・ 電源を切り、販売店にご相談ください。



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

警告



電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない



チャージャーは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流 100 V ~ 240 V 以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない



電源コードは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 無理に曲げない・ねじらない・引っ張らない
- 束ねたりしない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流 100 V ~ 240 V 以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない



内部に異物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 本機を水のかかるところで使用するときは、側面扉を確実に閉めてください。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上の
注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサー

Wi-Fi

パソコン
との接続

その他



警告



運転者などに向けてフラッシュやLEDライトを発光しない
事故の誘発につながります。



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※
の原因になります。

長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧
迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどに
なりやすい傾向があります。



メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

●粉じんの発生する場所でも使わない



雷が鳴ったら、触れない

感電の原因になります。

接触禁止

●本体やチャージャーには、金属部があります。



航空機内では電源を切る※

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

※やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、
無線LAN機能やGPS機能を使用しないでください。た
だし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されて
いる場合もありますので注意してください。

警告



満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合がありますので、電源を切る
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm以上離す
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意



フラッシュ発光部およびAF補助光、LEDライトは、至近距離で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。



フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

●乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

安全上
の注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサー

Wi-Fi

パソコン
との接続

その他

注意



LED ライトを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、70 cm以上離してください。



フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがらない

やけどの原因になることがあります。

発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。



次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなる場所 (特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ



次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき



レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。



低温下で長時間、直接触れて使用しない

寒冷地 (スキー場などの0℃以下の環境) で本機の金属部に長時間、直接触れていると皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。

- 長時間で使用の場合は、手袋などをお使いください。

注意

安全上の
注意

3Dの視聴について



光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。



3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。



■ 近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する

■ 3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。



3D撮影画像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。



3D撮影画像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様のご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

準備

撮る・見る

GPS・
センサー

Wi-Fi

パソコン
との接続

その他

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理 などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () —

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな? と思ったら」(取扱説明書 詳細操作編)でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ
●品番	DMC-FT5
●故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
「(重要)本機の防水/防じん、耐衝撃性能について」(7～11ページ)または本機の[防水などの注意点](P8)をよくお読みください。お客様の誤った取り扱いに起因する浸水などによる故障はご容赦願います。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

(但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません)

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● 使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック LUMIX (ルミックス) ご相談窓口		365日 受付9時~20時
電話	フリーダイヤル	パナは ルミックスバチ!
		0120-878-638
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。		

● 宅配修理サービスのご案内

(Web サイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト
http://lumix.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

■ お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。

(このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります)

会員サイト「CLUB Panasonic」で「 ご愛用者登録 」をしてください	
PC	http://club.panasonic.jp/
※このサービスはWEB限定のサービスです。	
	

愛情点検	長年ご使用のデジタルカメラの点検を!
	こんな症状はありませんか ・煙が出たり、異常なおいや音がある ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やチャージャーが破損した ・その他の異常や故障がある
	ご使用中止 故障や事故防止のため、本体の電源を切り、充電時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサ

Wi-Fi

パナコン
との接続

その他

保証とアフターサービス(よくお読みください)(続き)

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出しております。

<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道 地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5
	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
首都圏 地区	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	川口	☎ (048)297-7820	川口市戸塚2丁目23-20
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	秋葉原	☎ (03)3251-4616	千代田区外神田1丁目8-1 第三電波ビル
	国分寺	☎ (042)328-3211	国分寺市東戸倉2丁目38-1
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鷄4丁目42
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	吹田	☎ (06)6338-1241	吹田市春日3丁目20-6
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
四国地区	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
九州地区	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
沖縄地区	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

1112

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

GPS・
センサー

Wi-Fi

パ
ン
コ
ン
の
接
続

そ
の
他

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

● 使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://panasonic.co.jp/cs/>

パナソニック LUMIX (ルミックス) ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリー
ダイヤル



0120-878-638

※携帯電話・PHSからでもご利用になれます。

■ 上記番号がご利用
いただけない場合

06-6907-1187

■ FAX

フリーダイヤル



0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 宅配修理サービスのご案内 (Web サイトからお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト

<http://lumix.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

■ お申し込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
(このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります)

ご使用の回線 (IP電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて
使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。



QuickTime

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2013

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転店の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 電池や、消耗または摩耗した部品交換の場合
(ヘ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
(ト) 本書のご添付がない場合
(チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はおお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※ This warranty is valid only in Japan.



Panasonic

持込修理

デジタルカメラ保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	DMC-FT5		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間 (但し、CD-ROM 内のソフトウェアの内容は含みません)		
※ お買い上げ日	年	月	日
※ お客様	ご住所 お名前 電 話 () —		
※ 販売店	住所・販売店名 電 話 () —		

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

